

# こんにちは 日本共産党県議団です

## 11月県議会に向け 知事申し入れ

## 物価高騰対策の強化を

日本共産党長野県議団は11月議会に向け、知事に年末年始の生活困窮者支援強化や発熱外来で患者を受け入れる医療機関への支援継続などを要望しました。副知事が対応しました。

申し入れは▽県の非正規公務員の賃金引き上げと正規化▽民間企業の男女賃金格差の是正に向けて実態調査と是正計画働きかけ▽県立大学の授業料を県内在住者は無償に▽生活困窮者への相談体制の充実、住居確保など支援強化▽医療機関の経営支援強化、新型コロナ対策、インフルエンザの感染防止対策の強化▽信州F・P

OWERプロジェクトについて県民への説明—など6項目。

県議団長は、「『賃金上がらず、物価高騰で、これ以上節約しようがない』と生活苦の声が寄せられている」と述べ、各県議らが県民の声を紹介しました。

医療機関への支援では、「発熱外来の負担は3重苦、4重苦の状況。診療報酬の改善や県としての経営支援が必要」。公立大学の学費減免制度の新設は「全国的な流れ。若者から選ばれる県へカギになる課題」。信州F・POWER



プロジェクトについて「納得できる説明がなされていない」と要望しました。

副知事は「国の動向をみながら追加補正もありうる」と答えました。

### 産業観光企業委員会

#### 毛利栄子議員

#### 政治の責任で賃上げを 県の上乗せ支援の手続きは簡単に

賃金は労使の間で決めるというのが従来は当たり前でしたが、30年間コストカットが続き生活が疲弊し異常な状態が続くもとで、政治の責任で賃上げする方向が始まっています。国の「業務改善助成金」は生産性を上



げる取り組みと時給をセットで上げた場合に企業に最大600万円支給することになっています。県が上乗せ支援する提案がされたため、手続きを簡単にするよう求めました。

### 県民文化健康福祉委員会

#### 高村京子議員

#### 診療報酬と介護報酬の 大幅アップと処遇改善を

コロナ感染対策補助金が少なくなり、病院や介護福祉施設の経営がますます厳しくなっています。また医師、看護師、介護職員の確保難も深刻に。稼働病床削減や介護施設の閉鎖倒産も増えており、地域医療が守れるのか



不安も大きくなっています。診療報酬と介護報酬の大幅なアップと処遇改善を国に求め、県としても処遇改善への支援を求めました。

### 農政林務委員会

#### 和田明子議員

#### 学校給食は地産地消、 県産農産物の利用を

学校給食の地産地消で、県産・地場産の食材利用を進めてきたが、食料品の高騰で食材を県外や外国産に置き換えられていると質しました。以前のように教育委員会と連携して予算を確保し「地域食材の日」など県産農産



物の利用を増やすよう求めました。昨年からの畜産・酪農への飼料等の高騰対策は高騰分の一部を補填。経営の実態把握を求めました。

### 環境文教委員会

#### 両角友成議員

#### 本会議で委員長報告を行いました

教育委員会では教員の採用選考の見直しをしたり、努力は見られますが、厳しい状況で、特に教員不足が全ての分野で悪影響を及ぼしています。不登校や発達障がいのある児童生徒への適切な支援、高校再編では、生徒や地域の方々との話し合いの重要性も強調されま



した。特別支援学校における学習環境の改善や、教職員の非違行為の根絶と信州教育の信頼回復に向けた取り組みが求められました。

### 総務企画警察委員会

#### 山口典久議員

#### 東京電力福島第一原発を視察

東京電力福島第一原発と福島県の復興状況を、総務企画警察委員会で視察しました。

原発事故から12年が経過しても、1号機はガレキと鉄骨がむき出しで、使用済み核燃料



や燃料デブリに手もつけられない状態です。構内の惨状に、原発が抱える危険性と事故被害の甚大さ、深刻さを実感しました。

### 危機管理建設委員会

#### 藤岡義英議員

#### オスプレイの飛行訓練の 中止を強く要請すべき

事故が頻発しているオスプレイの飛行訓練の中止を国・米軍に要請すべきと追及しました。

危機管理委員会で、11月29日に屋久島（鹿児島県）沖に墜落したオスプレイの飛行訓練につい



て、県内上空で行わない様に、県として国と在日米軍に強く要請すべきだと求めました。

